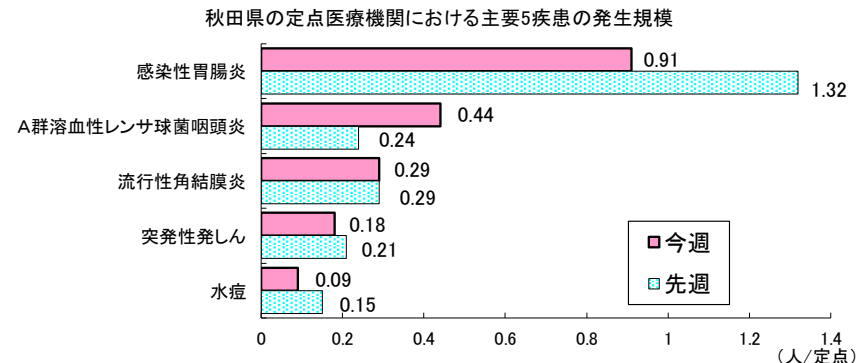




【第40週の発生動向】

< 定点把握対象疾患(週報)・前週比 >

1. 感染性胃腸炎は、県全体で31%減少しています。保健所別では、北秋田で増加、秋田中央で同規模、秋田市、大館、能代、大仙、横手、湯沢で減少しています。
2. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、県全体で1.8倍に増加しています。保健所別では、大館、能代、秋田中央で増加、秋田市、湯沢で減少しています。
3. 流行性角結膜炎は、県全体で同規模です。保健所別では、秋田市で増加、大仙で同規模、横手で減少しています。



発生報告

< 5類定点対象疾患(週報) >

疾患名	秋田県			秋田市			大館			北秋田			能代			秋田中央			由利本荘			大仙			横手			湯沢		
	第39週	第40週	増減	第39週	第40週	増減	第39週	第40週	増減	第39週	第40週	増減	第39週	第40週	増減	第39週	第40週	増減	第39週	第40週	増減	第39週	第40週	増減	第39週	第40週	増減			
RSウイルス感染症	0.09	0.06	↘								1.00	↗	0.67		↘	0.25		↘												
インフルエンザ																														
咽頭結膜熱	0.09	0.06	↘		0.14	↗													0.25		↘	0.50	0.25	↘						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.24	0.44	↗	0.43		↘	1.00	2.75	↗					0.33	↗		0.75	↗									0.33	↘		
感染性胃腸炎	1.32	0.91	↘	1.86	1.43	↘	1.75	0.75	↘		0.50	↗	2.00	1.33	↘	1.75	1.75					0.75	0.25	↘	0.33		2.67	1.67	↘	
水痘	0.15	0.09	↘		0.14	↗										0.25		↘				1.00	0.25	↘				0.33	↗	
手足口病																														
伝染性紅斑		0.03	↗														0.25	↗												
突発性発しん	0.21	0.18	↘	0.29	0.29		0.25		↘				0.33		↘	0.50	↗		0.25	0.25					0.33	0.33		0.33	↘	
ヘルパンギーナ	0.06	0.06											0.67	0.67																
流行性耳下腺炎																														
川崎病																														
急性出血性結膜炎										*	*		*	*		*	*									*	*			
流行性角結膜炎	0.29	0.29			0.33	↗				*	*		*	*		*	*					1.00	1.00		1.00		↘	*	*	
細菌性髄膜炎																*	*													
無菌性髄膜炎																*	*													
マイコプラズマ肺炎																*	*													
クラミジア肺炎(オウム病を除く)																*	*													
感染性胃腸炎(ロタウイルスによるもの)																*	*													

(注) 表の数値は、観測定点としている県内の医療機関から報告された患者報告数を、1定点あたりに換算した人数を示し、前週と比べて「↗」は増加を、「↘」は減少していることを示します。

「*」印は、当該疾病に関わる定点医療機関が指定されていないことを、空欄は全ての定点で当該週における患者の報告数があったことを示します。



発生報告

<全数把握対象疾患>

・二類感染症の結核が能代保健所管内から1人、大仙保健所管内から1人、報告されました。
 ・五類感染症のカルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症が秋田市保健所管内から1人、侵襲性肺炎球菌感染症が秋田市保健所管内から1人、梅毒が秋田市保健所管内から1人、秋田中央保健所管内から1人、報告されました。
 ・新型コロナウイルス感染症が能代保健所管内から2人、秋田中央保健所管内から1人、大仙保健所管内から1人、横手保健所管内から3人、報告されました。

<全数把握疾患>

類型	疾患名	1週-39週		40週
		全国	秋田	秋田
一類	エボラ出血熱			
	クリミア・コンゴ出血熱			
	痘そう			
	南米出血熱			
	ペスト			
	マールブルグ病			
	ラッサ熱			
二類	急性灰白髄炎			
	結核	11589	56	2
	ジフテリア			
	重症急性呼吸器症候群			
	中東呼吸器症候群			
	鳥インフルエンザ(H5N1)			
	鳥インフルエンザ(H7N9)			
	コレラ			
	細菌性赤痢	6		
	腸管出血性大腸菌感染症	2393	18	
腸チフス				
パラチフス				
三類	E型肝炎	343		
	ウエストナイル熱			
	A型肝炎	57		
	エキノコックス症	20		
	黄熱			
	オウム病	8		
	オムスク出血熱			
	回帰熱	5		
	キャサナル森林病			
	Q熱	1		
	狂犬病			
	コクシジオイデス症			
	サル痘			
	ジカウイルス感染症			
	重症熱性血小板減少症候群	97		
腎症候性出血熱				
西部ウマ脳炎				
ダニ媒介脳炎				
炭疽				

類型	疾患名	1週-39週		40週
		全国	秋田	秋田
四類	チクングニア熱			
	つつが虫病	138	1	
	デング熱	5		
	東部ウマ脳炎			
	鳥インフルエンザ(H5N1、H7N9を除く)			
	ニパウイルス感染症			
	日本紅斑熱	325		
	日本脳炎			
	ハンタウイルス肺症候群			
	Bウイルス病			
	鼻疽			
	ブルセラ症	1		
	ベネズエラウマ脳炎			
	ヘンドラウイルス感染症			
	発しんチフス			
	ポツリヌス症	5		
	マラリア	19		
	野兔病			
	ライム病	19		
	リッサウイルス感染症			
	リフトバレー熱			
	類鼻疽			
	レジオネラ症	1508	17	
	レプトスピラ症	19		
	ロッキー山紅斑熱			
五類	アメーバ赤痢	403	2	
	ウイルス性肝炎(E型及びA型を除く)	145	2	
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1422	24	1
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)	16		
	急性脳炎	251		
	クリプトスポリジウム症	4		
	クロイツフェルト・ヤコブ病	136		
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	457	3	
	後天性免疫不全症候群	764	1	
	ジアルジア症	27		
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	148	1	
	侵襲性髄膜炎菌感染症	2		
	侵襲性肺炎球菌感染症	1003	7	1
	水痘(入院例に限る)	206	3	
	先天性風しん症候群	1		
	梅毒	5447	31	2
	播種性クリプトコックス症	106		
	破傷風	73		
	パンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症			
	パンコマイシン耐性腸球菌感染症	93		
	百日咳	457	4	
	風しん	11		
	麻しん	4		
	薬剤耐性アシネトバクター感染症	3		
	* 新型コロナウイルス感染症	1737	7	

* 新型インフルエンザ等感染症

トピック

<水痘(水ぼうそう)について>

水痘(水ぼうそう)は、水痘・帯状疱疹ウイルスによって引き起こされる発疹症の1つです。感染力が極めて強く、空気感染するため感染が容易に拡がります。県内では第39週に注意報レベルとなっている地域もあります。特に冬が近づくとつれて患者報告数が増加する傾向にあるため(図)、注意が必要です。

■症状

感染から2~3週間の潜伏期間の後、発疹と発熱が現れます。発疹は、赤い発疹(紅斑)、米粒大の盛り上がった発疹(丘疹)、水ぶくれ(水泡)、膿を持った発疹(膿疱)、かさぶた(痂皮)の順に変化し、これらが混在することが特徴です。すべて痂皮化するのに一週間程度かかりますが、その時点で感染力はなくなります。

10歳以下での発症がほとんどですが、成人が水痘・帯状疱疹ウイルスに初めて感染した場合は重症化する傾向にあります。

また、治った後もウイルスは神経節に潜伏するため、体調不良や疲労の蓄積、加齢などにより身体の抵抗力が落ちた時に再活性化し、帯状疱疹となって症状が現れることもあります。

■予防

予防にはワクチンが有効です。水痘ワクチンは、定期接種となっており、生後12月から36月(1歳の誕生日の前日から3歳の誕生日の前日まで)の小児を対象としています。

定期接種の対象から外れた方でも、費用は自己負担ですが接種を受けることができます。予防接種を希望する場合は、お住まいの市町村、かかりつけの医療機関等にお問い合わせください。

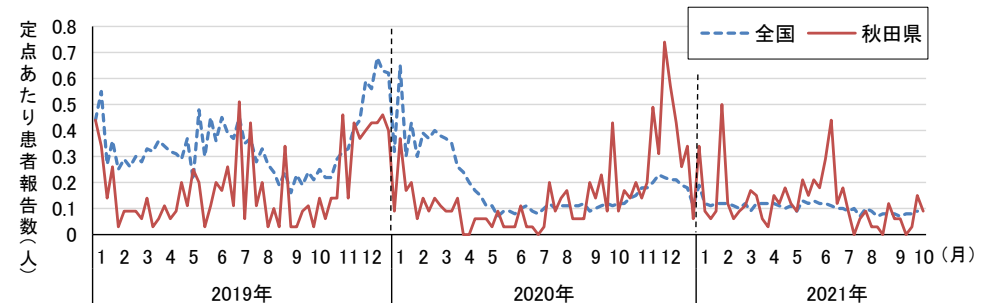


図 全国と秋田県における水痘の患者発生動向



【注意報・警報の発生状況】

疾患名	注意報	警報
	保健所（発生規模）	保健所（発生規模）
注意報・警報はありません。		

■ 注意報・警報の定義

【注意報・警報の定義】

- 1) 注意報：流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性があることを示し、流行の発生後であればその流行がまだ終わっていない可能性がある（終息していない）ことを示します。
- 2) 警報：大きな流行の発生・継続が疑われることを示します。

対象疾患	注意報			対象疾患	警報		
	基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)		基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)
インフルエンザ	10	30	10	伝染性紅斑	-	2	1
咽頭結膜熱	-	3	1	ヘルパンギーナ	-	6	2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	-	8	4	流行性耳下腺炎	3	6	2
感染性胃腸炎	-	20	12	急性出血性結膜炎	-	1	0.1
水痘	1	2	1	流行性角結膜炎	-	8	4
手足口病	-	5	2				

■ 保健所地域

保健所	所管市町村	保健所	所管市町村
大館保健所	大館市、鹿角市、小坂町	由利本荘保健所	由利本荘市、にかほ市
北秋田保健所	北秋田市、上小阿仁村	大仙保健所	大仙市、仙北市、美郷町
能代保健所	能代市、藤里町、三種町、八峰町	横手保健所	横手市
秋田中央保健所	男鹿市、潟上市、五城目町、八郎潟町、井川町、大潟村	湯沢保健所	湯沢市、羽後町、東成瀬村
秋田市保健所	秋田市		